

# 山名菅村

— 表現を愉しんだ人格者 —

令和5年 4月 22日(土) ~ 8月 27日(日)



晩年の山名菅村（昭和61年頃）



山名菅村画「専称寺」



大國魂神社境内の山名菅村句碑  
「孫を遊ばす 万両の実は 低いところに」(左)  
と小林晃歌碑(右)「のぼり路乃 汽笛はながし 車窓の外に くわんさうの花 桔梗の花」

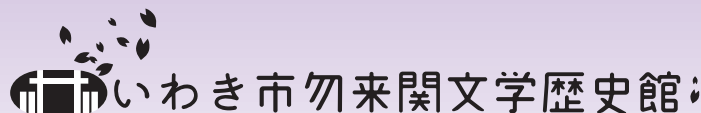
開館時間 9:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)  
休館日 毎月第3水曜日・元日  
観覧料 一般 330 (280) 円・  
中高大 220 (170) 円・小 170 (110) 円

※カッコ内は 20 名以上の団体割引料金  
※いわき市内在住の 65 歳以上の方、身体障害者手帳・療育手帳・  
精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方、いわき市内の小・中・  
高・専修・高専生(土曜日・日曜日のみ)は無料

ホームページ



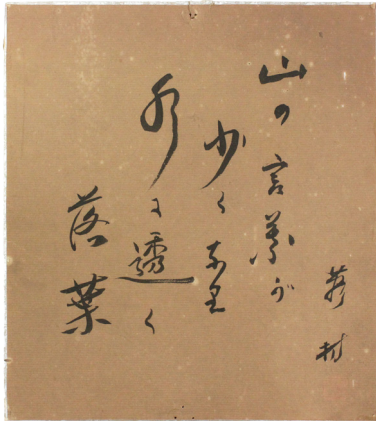
ツイッター



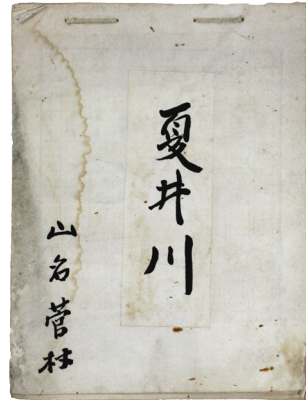
1915（大正4）年、いわき市平菅波に生まれた山名菅村（本名・隆之）は、俳人・教育者・歴史家・大國魂神社宮司など多彩な顔を持っていました。

俳句では、学生時代から俳人村山古郷と親交し、いわき市出身の大須賀乙字の弟子である俳人内藤吐天に師事して、句集『海の蟬』、『夏井川』、『水に透く落葉』、『やまなみ』などを残し、『夏井川』で1962（昭和37）年に福島県文学賞準賞を受けています。また、長年教壇に立ち、福島県立好間高等学校校長などを歴任して後進の育成に努めました。大学では史学を学び、史的随筆『菅原道明伝—ふくしま水力発電創設者の生涯』を著しています。退職後は、「ランプ画会」に所属して油絵を描くなど幅広い趣味を持ち、温厚で実直な人柄で人々に慕われました。

本展では、若き日から書き続けた日記や原稿、油絵や愛用品などで、七十余年の軌跡をたどります。



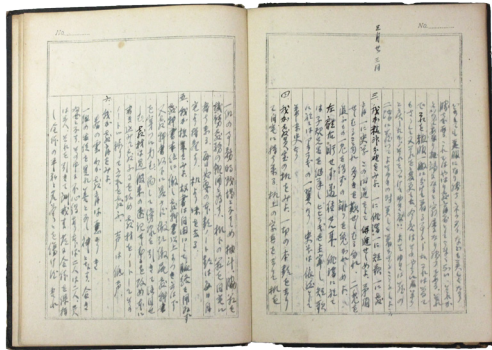
色紙「山の言葉が少なくなり水に透く落葉」



句集『夏井川』原稿



卒業論文「水戸藩に於ける文化事業（特に西洋文化の摂取採用に就いて）」



日記 昭和18年

昭和19年3月23日

…一に俳諧一に短歌一に教育一に史学この四道をして併進せしめよ。矛盾せしめること勿れ多きを歎ぜしむる勿れ。二兎を追ふもの一兎を得ずの誹りを免われしめよ。…



愛用のパイプ



愛蔵した水石



山名菅村画「バイオリン」

## 会期中のイベント

### 講演会「菅村俳句の青春性」

日時：5月13日（土） 14:00～15:30

会場：体験学習施設 吹風殿（当館に隣接）

講師：山崎祐子氏（公益社団法人俳人協会評議員）

定員：50名（先着順、要事前申込）

### 講演会「菅村と大和舞」

日時：7月23日（日） 14:00～15:30

会場：体験学習施設 吹風殿（当館に隣接）

講師：山名隆弘氏（大國魂神社宮司、博士〈歴史学〉）

協賛：大國魂神社大和舞伝承会

定員：50名（先着順、要事前申込）

### ギャラリートーク

日時：5月14日（日）、6月11日（日）、

7月9日（日）、8月13日（日） 14:00～14:30

当館学芸員が展示内容について解説します（事前申込不要）。

※講演会は電話またはメールにてお申し込みください。  
※SNSからの連絡については、対応できない場合がありますので、ご了承ください。